

東京清掃「さらなる組織強化にむけて」 第46回組織集会を開催



東京清掃労働組合
千代田区飯田橋3-9-3
TEL (3237) 9995
1部20円

編集責任
企画・総務局
渡辺 歩

わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。



▲ホスト会場で挨拶する江森委員長

3年ぶりとなる開催で「分散会討議」を採用

7月17日(日)日本教育会館にて、第46回組織集会を開催しました。依然として長期化しているコロナ禍ではありましたが、108名の参加を確認し感染対策を十分に施した開催となりました。

今年の組織集会は、昨年の開催内容の延長的な組織集会と捉え、各支部での課題や問題点、そして解決策を見いだすための議論を中心とし、一つ一つの意見を



今年度の組織集会では、各支部の意見を事前に伝え、各支部での議論を経たうえで、当日の組織集会に参加していただくという形式を取りました。さらには、複数の大きなテーマを事前提起し、当日は座長と座長補佐を中心とした分散会ごとの「テーマ選択制」を取り入れることで、分散会参加者の集中した意識とグループの団結が生まれたことだと思えます。



このような形式を取ったことにより、各支部で認識した内容になり、より具体性に増した議論を繰り返すことができました。さらには、複数の大きなテーマを事前提起し、当日は座長と座長補佐を中心とした分散会ごとの「テーマ選択制」を取り入れることで、分散会参加者の集中した意識とグループの団結が生まれたことだと思えます。



今回の組織集会では、各支部の人員や職場環境の課題をはじめ、役員としてのコミュニケーションの活用や情報伝達の仕方、組合員への気配りなど、具体的な議論が成し得たことだと思えます。

終盤では、全分散会(11分散会)から、分散会報告を受けてきました。どの分散会も、多くの議論をしてくれたことが明確に伝わりました。

今日の社会情勢からしたら、コロナ禍の影響はもちろんです。職場における年齢構成や価値観の変化など、取り巻く環境も年々変化してきています。その場で足踏みしていても、ましてや、組織として後退しては、たとえ時限的な考えであっても、決して見逃せるものではありません。この

不明確な「新しい資本主義」

公共サービスへの投資こそが今必要だ

自治体現場力と公共サービスを実現する集会



7月24日(日)13時から【自治労2022現業・公企統一闘争】の一環として「自治体現場力と公共サービスを實現する集会」がWEBで開催され、わが組合はSKホールをサテライト会場として10名で参加しました。

冒頭、藤森闘争本部長より挨拶を受けたのち、先日の第26回参議院議員選挙で当選された「鬼木まこと」さんから、支援のお礼とともに激励の挨拶、国会での決意の一端が述べられました。

続いて講演は2本。まず、先日閣議決定がされ、公共サービスを職場に大きく関わっていく「骨太方針2022の内容と対応方針」を水室政策局長から、引き続きわが組合としても、自治労現業・公



報告会でもあり、他の分散会がどのような課題を選択し、いかなる議論をしてきたのか、互いが気になる分散会報告でもありました。

その後、評議会両議長から決意表明がされ、伊東書記長によるまとめで集会は閉会となりました。引き続きわが組合としても、自治労現業・公

企統一闘争に結果し、全区での継続した新規採用・人員確保を求めるとともに、良質な公共サービスとしての清掃事業を守るため奮闘してまいります。



自信を持って主体的な運動づくりを構築しよう

今の社会情勢からしたら、コロナ禍の影響はもちろんです。職場における年齢構成や価値観の変化など、取り巻く環境も年々変化してきています。その場で足踏みしていても、ましてや、組織として後退しては、たとえ時限的な考えであっても、決して見逃せるものではありません。この

今集会の改善点等を集約したうえで総括をしっかりと示していきますので、各支部での討議の成果を實踐し

2022年度 議員懇談会のお知らせ

日時 8月25日(木) 13時~16時30分
場所 日本教育会館7階中会議室
内容 ①都区財政調整制度の問題・課題(仮)
②プラ法の成立を踏まえた、今後の清掃事業の展開(仮)
③意見交換等

議員の皆さまの参加をお待ちしております

(組織・共闘局)

(栗澤 紀和)